

## 鹿県児童クラブ連絡会 第7回新年度控えての指導員・学童保育研修会 アンケート

- ・市町村名 薩摩川内市(2) 鹿屋市(3) 霧島市(21) 出水市(4) 日置市(3) 始良市(2)  
いちき串木野市(3) さつま町(1) 志布志市(2) 南さつま市(1) 奄美市(7)  
初めて参加した(20) 参加したことがある(30)

## ■基調講演(小牧利明さんの講演)は、いかがでしたか?

- ・学童保育の開設から今日にいたって分かりやすく説明がされ、また退屈のないよう中国のある講師の数学を交えての講話はためになりました。
- ・近くの学童クラブと交流し、いろんな情報交換ができるようにしていきたいと思いました。
- ・学童の色々な発展、可能性を感じ取れるよい内容でした。
- ・児童クラブを立ち上げた当初からの大変さが良くわかり、とても良いお話を聞かせていただきました。児童クラブの運営のために親子でさつまいもを植えて、焼酎を作り上げられることはすごいことだと思います。
- ・指導員と施設長のスキルあげるための取り組み(実践)をきかせて頂いて、ためになりました。行動力ある姿勢に感服いたしました。
- ・マイクがなく話が聞き取りにくく残念でした。
- ・冗談を交えて話してくださり、聞き入ってしまいました。みんながスキルupできるように、4つの取り組みを参考にして行っていけばいいなと思いました。たくさんの苦勞をしての今があると思ったので、これからがんばっていききたいです。
- ・学童を立ち上げた苦勞から、学童同士のつながり、職員同士のつながり、保護者のつながりと子どもを真ん中に多くの人のつながりの中で、子どもをサポートして行くのが必要だと思いました。
- ・町を変えてきた小牧さんの話に感動しました。「あい・ぼーと」も立ち上げの段階で将来的に働く親、子どものためになるといいなと思います。
- ・黒木ワイワイクラブができるまでに様々なことを知り、周りの人たちの協力、連絡協議会との連携の大切さを学びました。クイズがとても楽しかったです。少しマイクがなかったので、声が聞こえず話が分からない部分もありました。
- ・学童保育の大切さ、子どもたちへのかかわり、保護者との関係…いろいろと考えさせられました。
- ・声が届かなくて、半分くらいしか聞き取れませんでした。立ち上げの際にことなどお聞きして、自分たちの時のことを思い出して、大変だったなと改めて思いました。
- ・学童保育を設置されるまでのお話をきいて良かったですが、普段の学童クラブの子どもたちの様子や、活動内容(行事のこと)、指導員の子どもたちへの働きかけなど具体的な話を聞いて見たかったです。以前、新聞にも載っていたことを知っていたので、より具体的なクラブの様子に興味がありました。そのことを中心に聞いて、参考にさせてもらえたらと思っていました。今回は、実際のクラブのことに即した内容の話を聞いてみたいです。
- ・とてもお話が楽しく、あっという間でした。連絡協議会等、立ち上げるところからのお話も勉強になりました。もっと困っていたり、当事者の意見でクラブの運営がなされると逆にすばらしい学童保育ができていのかと感じました。
- ・学童クラブ単独ではなし、地域や様々な機関などとの連携で、今まで難しかったことにも対応したり、取り組めたりできることが分かったので、自分の所でも参考に生かしたいと思いました。
- ・発足当時のご苦勞、連協の重要性、良くわかりました。地域活性化、学童保育の必要性、真剣に考えられ今に至る実際の運営について、他校からの受け入れに対応できるようイモ(子どもたちの手掘り)、マスコミ、議員、行政への訴え、研修会の実施、参加そして連協に入ったからこそ。頭の体操、よかったです。(多方面から見ることの大切さ)
- ・連絡協議会があることでたくさんの児童クラブと情報を共有でことがとてもありがたいと思います。自分が働いている児童クラブでの悩みなどを、他の児童クラブの方々も同じような悩み、試行錯誤されながら解決してきたとうかがい、自分もいろいろ工夫しながら、保育していきたいとモチベーションのあがる場となるので、これからも他の児童クラブとの情報共有から大事にしていきたいです。
- ・連絡協議会の必要性を改めて感じました。
- ・子どもたちのために大変苦勞されて立ち上げてこられたのだなあと思いました。我が児童クラブもいろいろあって、今は落ち着いています。落ち着いてから関わっていますが、子どものため、地域のための愛情を感じました。
- ・いろいろな運営のやり方があるんだなと思いました。
- ・情報のやりとりの重要性が良くわかりました。協議会での情報はすごく助かります。
- ・発達障害などのDVD研修と他の学童で現場研修のために働くのは「いいな」と思いました。色々な場所で経験を

積みたいて思っていたので。

- ・小牧さんが今までの経験を生かして、学童に対しての熱い思いが伝わりました。改めて、国や地域が学童への対策や支援を、もう少し考えてほしいと思いました。
- ・学童立ち上げのご苦労などや努力された話など、これからの学童のあり方など学びました。
- ・連絡協議会の意味、あり方、改めて勉強させていただきました。感謝し、協力できることはしていきたいと思った。
- ・始良市ではまだ連絡協議会がないので、他の児童クラブとの交流等があまりありません。ぜひ、これから他のクラブとの交流、情報交換ができるようになりたいです。
- ・身近な方々との関係、向き合う日々を送っておられた出来事。
- ・実体験の話だったので、苦労されたのが良くわかった。
- ・児童クラブの立ち上げの話がとても心に残りました。14年前からされていて、びっくりする苦労されたことが、ひしひしと感じられ、努力されたことと思います。行政との関わりが大変だったと思います。午前中に勉強して、昼から仕事というのがいいと思います。施設長が勉強に行く、他の児童クラブと連携をとる。
- ・具体的で分かりやすく良かったです。
- ・実例の講話で、楽しく聞くことができました。イモ作りから焼酎へ商品化するまでの写真もを見せていただき、感動し影響を受け、我が児童クラブでも挑戦してみたいと思いました。
- ・わいわいクラブの活動は、新聞等で見っていたのでとても参考になりました。保険関係の勉強会等は、大切なことなので、ぜひ開いていただきたいです。
- ・学童の立ち上げの経緯がわかったり、他の市の連絡協議会の内容が知れて、有意義でした。
- ・何も無いところから発足していく苦労。町を発展させていこうといういろいろな発想、すごいと思いました。
- ・立ち上げるまでのお話、勉強になりました。子どもたちと一緒に焼酎を作ったり、すごいなあと思いました。数字のゲームが楽しかったです。
- ・途中でクイズが入って、楽しくうかがいました。連絡協議会が有り難いという思いは同じです。一つの学童でいくら声を大にしても行政に届かないことが多いですが、協議会を通して声を上げて行けば少しずつでも前進していけるとと思います。
- ・改めて、連絡会が大切だということが分かりました。
- ・黒木わいわいクラブの小牧先生のお話はすごい！の一言です。地域にあった活動ですが、子どもたちもいい経験ができてすばらしいなと思いました。私達も頑張らねばと思いました。
- ・連絡協議会があることによって、指導員の情報交流の場ができ、私達指導員も学童の資質を高めるよう頑張っていきたいと思います。活動報告も勉強になりました。
- ・学童保育のあり方、預けるばかりでなく、一緒に何かをすることも、経験できるという案をもらいました。参考にしたいです。
- ・とても引きつけられる話で、もっと時間があつたらなと感じました。
- ・違う地域での取り組みを詳しく聞けて良かったです。色々な分野での取り組みがあるのだなと思いました。

## ■今回の研修会講座&分科会で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・分科会（グループ会）地域の方がほとんど協力的でびっくりした所があり、私達もそうなれるよう努力したい。研修では、子どもの一人ひとりに耳を傾け共感し、一緒になって考えていく。親御さんとも共感しあい、会話（プラスになるような）をしていく。
- ・（基礎講座）いろんな先生の話がきけてよかったです。私自身ももう一度見直して、子どもたちと接していきたいと思いました。
- ・各児童クラブで本当に様々な考え方や問題点があることがわかりました。条例づくりに関して、積極的に発言していく必要を感じました。
- ・（基礎講座・実践講座）テキストを見ながらとても分かりやすい講座でした。実例を挙げながらの説明でしたので、とても良かったです。班に分かれての各児童クラブの問題点なども話ができ良かったです。
- ・（理論講座－1）優しい口調でいろいろとお話くださり、勉強になりました。
- ・（理論講座－2）学童保育の制度仕組み H27年度に向けて指導員の待遇改善があるとの明るいニュース。この2年間であらゆる設置運営のある連協をとりまとめるのは大変なことであると、期待しつつも無理なのではないかと思いました。将来的には、後につづく指導員のことを考えるとこれからも積極的に県に働きかけていく必要はあると思います。
- ・（理論講座－1）子どもを中心に関わることの大切さ、豊かな支援方法等、色々つなげて考えることができ、良い学びになりました。今後の支援に役立てたいと思います。
- ・いつもと様子が違う子の背景に何があるのかを知るといことが印象に残りました。子どもからどうやって情報を

- 集めたらいいのか、考えなければいけないなと思いました。自分のことを分かってくれる人がいるという安心感をもってもらえるような指導員になりたいです。
- ・(理論講座-1) 分かりやすい話でとてもためになった。大声をなぜ出してしまうのか、というアドラーの話で、自分の感情をコントロールできないためだと思っていたのが、そうではないということを知り、今後自分の対応(自分の子育てにも)に役立てていこうと思った。
  - ・(基礎講座・実践講座) 保護者との連携の際、共感的にアドバイスできる指導員の重要性、子ども一人ひとりの観察また兄弟や家族の様子を指導に生かしていくことの大切さ。学校とは違う場所ということ。→ホッとした場所であり、学校終わりの一番の様子を見れることの良さがあること。それを保護者に伝えられたらいいということ。目からウロコでした。これを励みに頑張っていきたいと思います。
  - ・(理論講座-1) 今回の講座で子どもたちに対する自分の行動や言動を反省しました。「早く〜」ってよく言っていました。もっと子どもたちの行為や言動をよく観察していきたいです。観察して心の中にある要求をくみ取れるようになりたいです。また、先生の講座を受けたいです。
  - ・子どもたちとのかわりを最初、自分もことばで落ち込んだこともあることを、共感していたことを聞いたら安心した。
  - ・(理論講座-2・学童保育の制度・仕組み) 説明を聞いて少しだけ新しい制度のことが分かりました。いろいろな資料を読んで勉強したいと思いました。
  - ・(実践講座-学童の生活づくり) 経験の長い先生方の日頃のクラブのことについてや、大切にしたいことなど、お話が聞けてとても参考になりました。また、他のクラブの先生のお話を聞ける機会があって、色々とお話が聞けて良かったです。どのお話も、今後役にたてられお話を聞けました。
  - ・(理論講座-1) 子ども発達段階について指導員としてしっかり学んでおかないと反省しました。怒らない、怒鳴らないようにし、苦言を与えて子どもが良くなる方法を探っていくことが大切だと勉強できました。
  - ・(基礎・実践講座) グループ間での意見交換や他の学童クラブのことを知ることができて良かった。またテキストを通しての基礎的なことも確認できた。
  - ・(理論講座-1 子ども発達と心理) 優しい語り口調で、ビシビシ大切な言葉を発し、大切な学童期の子どもに関わる者として、常に念頭におき実践できるようにならねばと思わせてくださる内容でした。心理学的なこと、フロイト、アドラーの説について学び、そして自分自身も変えられるよう努力していきたい。
  - ・(理論講座-1) 全てが印象的だったのですが、やはり子どもたちに対する声かけの仕方は勉強になりました。“人間に接すること”“発達を見守っていられること”に喜びを感じました。ロールプレイング…できなくて残念でした。またの機会を楽しみにしています。
  - ・(実践講座) 保護者とのつきあい方。障害児との接し方。
  - ・(理論講座-2) 国の答申が出てからでないとい市は決められないといつも言われるので、勉強になりました。
  - ・(理論講座-1) アドラーに心理は、ショック的な内容でした。今まで自分が「言い訳」としていたことを、すっぱり抜かれたようでした。過去にとらわれない、支配されない → 心に念じて生きていきます。
  - ・(理論講座-1) 先生はすごいと思いました。こういう時にこういう言い方(だめよ、早く)等、そのまま、私の言っていること、状況をみぬかれています? あたっていました。
  - ・(理論講座-2) 学童保育の役割・目的 国の2014年度の補助単価など勉強になりました。
  - ・(基礎講座)「遊びを軸にした生活づくり」という言葉は、印象深かったです。勉強に力を入れすぎていたので…。
  - ・(基礎講座) 今まで以上に、子どもたちの話をきちんと聞いてあげたり、目が行き届けていけたらと思いました。保護者の方との交流を大事にしたいと思いました。
  - ・奄美(たんぼぼ)の保護者会の学童への支援協力がうらやましかった。
  - ・(理論講座-1) 子どもたちの前に自分自身を見つめ直すことが大事だと思いました。自分自身と向き合って、明日から子どもたちに接して行きたいと思いました。
  - ・(基礎講座) 学童での生活づくり:“放課後のおうち” 保護者とのかわり:さりげなく、指導員同士・保護者と情報の共有、交換。
  - ・(理論講座-1) ちゃんと遊んでいない子は、9歳の壁は越えられない! ← 息子にう〜んと外や畑、山で遊ばせてあげたいと思った。そろそろタケノコほったり、ワラビ取りに行ったり、椎茸取りに行ったり。「ダメ」「早く」は常に口にしていて。気をつけなきゃと思った。反省…。 指導員として、また母として話を聞いていたので、反省する点、これから実践していかなければいけないことなど、考えさせられた講座でした。
  - ・(理論講座-1) いつも子どもたちを注意していることを何度も繰り返す子どもたちに、「こら〜」の一言で終わらせることがある。子どもたちも「また始まった」くらいに思っているのだなあ〜と思いました。危険なこと、やってはいけないことは、工夫しながら伝えていくことを教わりました。「アドラー」読んでみたいと思います。
  - ・(理論講座-1) アドラーの心理学 外に出ないという目的にあって、その目的を達成する手段として、不安、恐怖心を本人が感じている。発達障害 社会性問題(手探り)発作の誘因となる心理的ストレス ※反論しなくて

も言葉で返せよ。

- ・(理論講座-1) 分かりやすかった。でも実践するのは難しい？
- ・学童の歴史などいろいろと聞いて大変ありがたく聞かせていただきました。細かく分かりやすく、自分もまた勉強が足りないと思っています。
- ・(理論講座-2) 制度仕組みが良くわかりました。またいろいろな話が聞けて良かったです。
- ・(理論講座-2) 学童保育の制度の仕組み、奥深いものとひしひしと感じました。子育て、生活しやすい環境を作っていく、感性を持ち、子どもの気持ちに寄り添って、保育してきたいと思います。
- ・(基礎・実践講座) 児童クラブは、子どもを素に戻す場だというお話は「わがまま」だと思っていた行動も、「甘え」なんだと受け止められる、とてもいい言葉でした。
- ・(理論講座-1) アドラーの心理 子どもの発達と心理についてはとてもためになり、実践的に活用したいと思えます。
- ・(基礎・実践講座) 分科会で指導員の基礎を再認識できました。グループ討議での意見交換がとてもタメになりました。
- ・(基礎・実践講座) 田間さんや木佐貫さんは、学童の仕事に誇りを持って、子どもたちと接していらっしゃるのだからとすごく感じました。もう少し、子どもとの時間を大切に、子どもの心のよりどころになれるように努力しないとダメなと思いました。
- ・(基礎・実践講座) いろいろな話を聞くことができ良かったです。グループで話をして、自分が分からないことを教えてもらいました。この研修会を生かして子どもたち、保護者の方々と接していきたいと思えます。
- ・(理論講座-2) もっと中身が難しいと思っていましたが、大切なポイントを絞って話を進めていただき、子ども・子育て支援法の制定が、身近になりました。また、質疑応答もいろいろなお話が聞けて有り難かったです。
- ・(理論講座-2) 現場(学童)と行政の学童に対する認識の差に驚いたことです。働いているだけでなく、お金こと対策(国の)や勉強しないとダメなと思いました。
- ・(理論講座-1) 熊谷先生 ありがとうございます。聞いたこともないアドラーの心理学、リフレーミング、いろいろ勉強になることばかりでした。学童に帰って、今日の勉強を活かして頑張って、笑顔で子どもたちに接することができるように頑張ります。
- ・(理論講座-1) 発達段階にあわせて「ピントを合わせて」シャッターを切る、青年期を見通した指導の仕方を深く考えさせられました。私たち指導員が日常使っている言葉が、大切(使っている言葉を変えられる大切さ)…考えようと思えます。人は誰でも変えられる“自分も変えられる人だ” 人は誰でも幸福になれる 心に残る言葉でした。アドラーの心理学「目的論」「原因論」勉強になりました。
- ・(理論講座-1) 子どもへの言葉かけの大事さ。「ダメ」ばかりではいけない。どうしたらいいのか、何をしたいのかなど、もっと子どもの気持ちを考えながら接していけたらいいな—と思いました。
- ・(基礎・実践講座) 2人の先生方の話がすごく良かった。そして後半の他の学童の方との情報交換も大変ためになりました。他の分科会も参加したかったです。時間差で参加できたらよかったです。
- ・(基礎・実践講座) 学童を第二の学校にしてはいけない、学童は塾化してはいけない、緊張が(子どもに)あってはいけない、指導員主導であってはいけない等が心に響きました。「ただいま」と喜んで帰ってこられるような学童にしたいと思った。
- ・(理論講座-1) 私たちの仕事の大切さを改めて感じました。子どもの心に寄り添い、色々な言葉を自分でも勉強して、自ら研修して励みたいと思えます。先生のお話は本当に心にしみました。あ—という間の研修に感じました。

#### ■今後、どんな研修会に参加してみたいですか。

- ・いろんな問題、トラブルを相談できますようお願いいたします。
- ・専門的な研修会。
- ・発達障害に関する研修会等があれば、ぜひ参加したいです。
- ・難病の子への対応。
- ・学校名で関連するところとの連携のあり方(実際にどのようにされているのか?)を知りたいです。学校までの送迎(指導員による送迎)のことを知りたいです。
- ・ケガへの対処法、アレルギーをもつ子どもの対応。これを取り入れて良かった(行事・保護者へ対して・きまり等)の事例を紹介してもらえるもの。
- ・今回のような形式なら問題ないと思えます。
- ・アレルギーや発達障害についての研修会。
- ・造形など実際に作ったり、遊びを中心のものをお願いします。
- ・今日の研修も良かったです。具体的なもの、事務のこと、通信の作り方なども期待しています。
- ・1、2の基礎講座は、とってもためになったのでぜひ続けていただきたいです。発達障害や高学年への保育につい

での研修会も開いていただきたいです。

- いじめられた子どもを救う方法、手助けについて知りたいです。
- はじめての研修会で、すごく勉強になりました。指導員としての自覚を持たないといけないと思いました。
- 今回のような他の学童との情報交換。指導員の仕事と役割の話など。
- 障害児の子どもたちについて学びたいと思います。
- (主任) (指導歴〇年) とかに分かれての情報交換もしてみたいです。今日は奄美からはるばる来たかいがありました。
- カウンセラー的な研修を受けたい。